

2023年6月13日

学校法人三幸学園
札幌ブライダル&ホテル観光専門学校
校長 武田 政司 殿

学校関係者評価委員会
委員長 中村 宗人

学校関係者評価委員会実施報告

2022年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 中村 宗人 (マスダプランニング株式会社 経営企画室マネージャー)
- ② 松田 桃花 (第10期卒業生)
- ③ 川原 祥吾 (株式会社共立メンテナンス寮事業本部 札幌支店)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2023年5月27日 (会場 札幌ブライダル&ホテル観光専門学校 図書室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2022年度 学校法人 三幸学園 札幌ブライダル&ホテル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 熊木 絢子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 中村 宗人

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできる No. 1のプランナー・コーディネーターとなる人材」、観光分野として「日本の魅力を伝えられ、語学力を有し、主体的に考え『おもてなしの心』と『人を楽しませる力』を持った人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

2022年度は、以下の項目に重点を置き、学校運営に取り組んできた。

- ・退学者数減少
- ・卒業生満足度の向上
- ・就職決定率の向上

それぞれの項目を前年比にすると、退学率 0.2%増加、卒業生満足度は 0.01%、就職決定率は 0.6%下がった。

2023年度は退学者を 4.0%以内に抑えることを目標に、就職決定率向上に向けて、担任のスキルアップと講師陣と情報共有し卒業生満足度を高められるように目指していく。

② 学校関係者評価委員会コメント

退学者数の増加と就職率の低下については、卒業生満足度にも関わることであるので、引き続き重点施策としてほしい。担任、講師陣向けの研修なども取り入れ今後も高められるように努めていただきたい。(中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について)

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・コロナ禍により約3年間でブライダル業界にも様々な変化があったが、今まで通りに戻ってきている。お客様との打合せ等は、オンラインでの接客も行うが、やはり対面での接客がメインである。アフターコロナにおいては、これまでの知識・技術にプラスαをするというよりも、それぞれが持っている知識や技術を実践できる場を多く作り、自ら考えて行動、発言できる場を多く作りコミュニケーション能力を高めることが必要と感じる（中村委員：ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科）

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員的能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・常勤職員に対する研修は実施しているが、全講師に対して研修実施回数が少なかった。

② 今後の改善方策

・2023年度は、指導力・知識向上を目指し、全講師での会議で研修を実施。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・卒業生もインターンシップ生も、知識や技術を学校でしっかり教わっているのが、現場に入っても行動力が素晴らしい。また発言力もあり、他の学生より積極的で向上心があると感じる。インターンシップの経験を活かして就職活動に繋がられていると感じている。(松田委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエアトラベル科について)

・大学生と専門学生を比べると、専門学生の方が言葉遣いやビジネスマナーの指導を受けていて、身についていると感じる。目的意識が高い学生はモチベーションが高い、インターンシップも何を身に付けたいのか等の目標を持って臨めると、能力を伸ばせるのではないかと感じる。単位取得目的の学生は自ら進んで行動はできていない、少しずつ達成できる業務目標を明確にしていれば成長を自覚し、就職活動へ繋げていくことができるのではないかと感じる。(中村委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について)

・提携寮から他校の学生より規律や身嗜み、挨拶がしっかりしていると感じているので、継続して伸ばしていただきたい。コロナ禍が落ち着いてきたので今後インターンシップ生を提携ホテルで受け入れていきたい。(川原委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエアトラベル科について)

(4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・学生への就活意識づけに対して指導に一部差が出たため、サポート体制面での課題がある。

② 今後の改善方策

・2023年度はキャリアサポートBOOK(就職指導冊子)を一新し、より充実した内容へ変更。さらに統一した指導を実施し、就職に向上へとつなげる。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・卒業生は、プランナー・サービス・ドレス部門のどちらでも、目的意識を持って楽しく頑張ってくれている。インターンシップの経験を活かし、向上心を持って努力し対応力や接客力を身に付けてきているので現場で即戦力へと繋がってきていると感じている。(中村委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について)

・インターンシップで実務経験を積み自信を持つことで仕事、企業に魅力を感じ就職活動へと繋げていくこともできているのではないか。(松田委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科について)

(5)学生支援

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

・卒業生、中途退学者への支援が不足している。

② 今後の改善方策

・同窓会LINKを活用して情報の発信及び相互交流における支援体制の構築を目指す。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・実習設備をより現場の状況に近くしていきたい。(チャペル、メイク、ドレス)

② 今後の改善方策

・より充実した学修環境を目指し、次年度以降より順次改修できるところから整えていく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・学校の教育向上の為に、施設に必要なものを提供できるよう協力していきたい。(中村委員:ウェディングプランナー科・ブライダルヘアメイク&ドレス科・ホテルエトラベル科について)

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018 年度～2022 年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2

① 課題

・地域に対する公開講座は未実施。

② 今後の改善方策

・地域連携を強化できるような活動を検討していく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・コロナ禍もあり、学習成果への評価体制が整っていない環境であった。

② 今後の改善方策

・留学生の学習効果进行评估していただける環境作りに取り組む。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

2022年度は、以下の項目に重点を置き、学校運営に取り組んできた。

- ・退学者数の減少
- ・卒業生満足度の向上
- ・就職決定率の向上

取り組みとして、2021年度より良い結果に繋げることができず、まだ改善の余地が十分にあると考える。同時に、新たな課題も発見できたため、2023年度は継続して課題の改善に取り組んでいく。